

#### 第41回高崎ユネスコ協会国際理解バスを終えて

国際理解バス部長 中島 千恵美

異常なほど暑かった夏休みも立秋を過ぎると雨の降る日もあり、天候不順となった。理解バス当日も天候が心配されたが、防犯青少年課山口補佐の激励や串田会長の話しの後、児童生徒36名・引率6名計42名は元気に出発した。

バスは玉村スマートインターから一路東京へ。一緒に行動する仲間の自己紹介の後、バスの中はゲームで盛り上がり、歓声が上がるほど。途中三芳PAで休憩。美女木を過ぎると車・車・車の渋滞！！引率者から「高崎」はなぜ「高崎」という漢字になったのか。鷹でなく高の使われた理由 etc。また、他の引率者からは市内の児童生徒のことや宇宙環境に関する事がクイズ形式で出され、頭をフル回転させながら答えを導くバスの中。当たると景品が貰え、一喜一憂。

ふと時計を見ると9時55分。JICA地球ひろばに遅れることを連絡。玄関では前青年海外協力隊員だった案内人の宍倉さんが出迎えてくださり、20分遅れで開始。SDGsの中から水環境についてのビデオ学習と水バケツ10Lを持つ体験をした。展示室ではSDGsのコーナーが目を引き、子供たちは思い思いにカメラを向け撮影したり筆記したりしていた。協力隊の宍倉さんは富士山の5合目と同じ高さのエチオピアに派遣されていたとのこと。説明が分かり易くとても計算されていて、実技を交えた参加型の50分。現地の言葉で「コイ」は「待つて」の意味、「イッシ」は「OK」のこと。ジェスチャー交えての練習。



今年は和室でバイキング

昼食は多国籍料理のケータリング。サフランライスが盛りつけられた三分の一が残り、唐揚げはあっという間に姿を消した。子供達は、バイキングに慣れており、自分のお皿に食べられるだけ取り、何度もお替わりする姿が見られ、無駄のないきれいな食べ方をしてくれた。



JICA玄関前にて

午後は永田町にあるメキシコ大使館へ。通訳官と政治部から2人が出迎えてくださり、中1女子が西語で挨拶。グロリア書記官からは歓迎の言葉が述べられ、メキシコの事をどれほど理解しているか、映像を使って説明したり質問したり。子供達が意欲的に手を挙げ参加したので大使館の3人から子供達への感嘆の声が聞かれた。また、メキシコにはたくさんの遺跡もあり観光に力を入れている様子も分かった。後半は自国文化を子供達が積極的に発表してくれた。ステージは空手と剣道の型を披露するにはやや狭かったが、気合いと共に堂々とした態度で観客を楽しませてくれた。条幅習字、半紙習字、折り紙の花束や花火などもプレゼントし、書記官や通訳官が感心されていた。



書記官が剣道に興味を示し、竹刀の持ち方を中学生が教える姿もあり、微笑ましかった。

本事業は小5から中3迄の児童生徒に参加を呼びかけ、毎年多数の応募者があり抽選をして参加者を決定している。それだけに参加者の意識が高く継続したい事業。

結びに、日本メキシコ友好協会や防犯青少年課のご協力に感謝申し上げたい。



メキシコ大使館にて集合写真